WIT

WORK & WOMEN IN INNOVATION SUMMIT

Kyoto

# Breakthrough!

～次世代の「女性活躍」と「働き方」を京都から～

# 開催報告書

## CONTENTS

開催概要・・・・1
プログラム・・・・2
オープニング･主催者挨拶・・・・3
基調講演①・・・・4
基調講演②・・・・5
パネルディスカッション①・・・・6
ビジネスウーマンコレクション・・・・7
パネルディスカッション②・・・・8
共同宣言・・・・9
先催県からのメッセージ・・・・10
分科会/女性起業家交流会（第8回京都女性起業家賞(アントレプレナー賞)授賞式)・・・・11
分科会/STEM女子に聞く仕事のリアル・・・・12
分科会/男性の家事・育児参加が社会を変える・・・・13
分科会/男性リーダーに知ってほしい女性活躍推進の取り組み・・・・14
広　　報・・・・15
記録写真・・・・17
アンケートのまとめ・・・・20

## 開催概要

■ 事　業　名　WIT Kyoto

■ 実 施 日 時　2020年1月31日(金)　9:30開場　10:00～17:00

■ 開 催 会 場　京都経済センター（京都市下京区四条通室町東入）　全体会２Ｆ　10:00～14:15

分科会２Ｆ・6F　14:30～17:00

保育ルーム 3F（利用者11名）

からすま京都ホテル（京都市下京区烏丸通四条下ル）　懇親会　17:30～19:00

■ 主　　催　輝く女性応援京都会議

（京都府・京都市・京都労働局・京都商工会議所・京都商工会議所女性会・京都府商工会議所連合会・京都府商工会議所女性会連合会・京都府商工会連合会・京都府中小企業団体中央会・京都府中小企業女性中央会・一般社団法人京都経営者協会・一般社団法人京都経済同友会・公益社団法人京都工業会・京都府商工会女性部連合会・日本労働組合総連合会京都府連合会・国際ソロプチミスト京都・国際ゾンタ京都クラブ・公益財団法人大学コンソーシアム京都・日本政策金融公庫・公益財団法人21世紀職業財団関西事務所・京都府男女共同参画センター・京都市男女共同参画センター）

■ 共　　催　一般社団法人Inclusive Growth Summit、 関西女性活躍推進フォーラム

■ 後　　援　内閣府(男女共同参画局)、厚生労働省、経済産業省、OECD東京センター

■ 協　　賛　特別協賛　株式会社ワコール

協　　賛　京都中央信用金庫

大阪ガス株式会社、京都光華女子大学、京都信用金庫、京都薬品工業株式会社、株式会社三笑堂、三洋化成工業株式会社、株式会社島津製作所、株式会社 GSユアサ、第一生命保険株式会社、大丸京都店、株式会社髙島屋、武田病院グループ、同志社女子大学、日新電機株式会社、日東精工株式会社、日本生命保険相互会社 京都支社、株式会社藤井大丸、株式会社堀場製作所、株式会社増田医科器械、株式会社ユーシン精機、株式会社ロマンス小杉、ローム株式会社　（順不同）

## 来場者数

全体会　284名

分科会　291名　合計575名

## プログラム

**全体会：京都産業会館ホール　10:00-14:15**

・オープニング　特定非営利活動法人 京小町踊り子隊プロジェクト
・主催者挨拶　　京都府知事 西脇(にしわき) 隆俊(たかとし)　京都市長 門川(かどかわ) 大作(だいさく)
・基調講演①　「女性皇族として」思うこと　彬子(あきこ)女王殿下
・基調講演②　「女性活躍で未来を変える」　久能(くのう) 祐子(さちこ)氏

・パネルディスカッション①

「日本の女性活躍の壁を乗り越えるために必要なもの
～グローバルに活躍する女性の経験から～」
キャシー 松井(まつい)氏・久能(くのう) 祐子(さちこ)氏・村上(むらかみ) 由美子(ゆみこ)氏・モデレーター/井原(いはら) 慶子(けいこ)氏

・ビジネスウーマンコレクション　坂口(さかぐち) 久美子(くみこ)氏　協力：株式会社ワコール

・パネルディスカッション②

「成長戦略としての働き方改革と柔軟な働き方
～パネリストの事例から自分自身のキャリアを考える～」
キーノートスピーチ/岡島(おかじま) 悦子(えつこ)氏・鳥屋尾(とやお) 優子(ゆうこ)氏・羽生(はぶ) 祥子(さちこ)氏・平林(ひらばやし) 幸子(さちこ)氏

**分科会：　14:30-17:00**

京都産業会館ホール　14:30-17:00
「女性起業家交流会(第８回京都女性起業家賞(アントレプレナー賞)授賞式)」

6階６-Ｆ　14:30-17:00
「STEM女子に聞く仕事のリアル
～女子学生のためのフューチャーフォーラム～」

６階６-Ｄ　14:30-17:00
「男性の家事・育児参加が社会を変える」

６階６-Ｃ　15:00-17:00
「男性リーダーに知ってほしい女性活躍推進の取り組み
～社外メンターによる女性のキャリア支援～」

**お茶席：　11:30-15:00**　京都で出会うおもてなしの心
協力：株式会社鼓月、京都府女性の船「ステップあけぼの」京都支部

**懇親会：　17:30～19:00**　からすま京都ホテル　瑞雲の間

## 【オープニング・主催者挨拶】

オープニング：特定非営利活動法人 京小町踊り子隊プロジェクト

主 催 者 挨 拶：京都府知事　西脇 隆俊

京都市長　　門川 大作

### 【オープニング】

特定非営利活動法人 京小町踊り子隊プロジェクトによる、振袖をまとった華やかで京都らしい演舞がオープニングを飾り「WIT Kyoto」が開幕しました。

### 【主催者挨拶】

西脇京都府知事

門川京都市長（代読/別府京都市文化市民局長）

**主催者である輝く女性応援京都会議を代表し、西脇知事そして門川市長より挨拶がありました。**

西脇知事は、「WIT Kyotoにおいて、女性活躍や働き方改革への関心を一層高めていただくとともに、京都産業の未来を担う人材が生み出されることを期待。就任以来一貫して掲げている『子育て環境日本一』の実現に向けて、企業風土の改革や、男性の育児休業取得促進などに取り組み、誰もが活躍できる男女共同参画社会の実現を目ざしていきたい。」と挨拶。

門川市長からは、「ものづくり・地域企業に支えられて発展してきた京都の強みをいかし、女性の活躍推進に向けてオール京都体制で多彩な事業に取り組んできた。その結果、女性の社会進出は着実に進んできており、京都市においても女性管理職比率は18.6%と6年連続で過去最高を更新している。本サミットを契機にあらゆる人がいきいきと働き続けられる社会の構築につながることを祈念している。」と挨拶がありました。

## 【基調講演①】

## 「女性皇族として」思うこと　　彬子女王殿下

寛仁親王殿下の第一女子として誕生。学習院大学を卒業後、オックスフォード大学マートン・コレッジに留学。
日本美術を専攻し、海外に流失した日本美術に関する調査・研究を行い、2010年に博士号を取得された。女性皇族として博士号の取得は史上初のことである。子どもたちに日本文化を伝えるために、ご自身で一般社団法人「心游舎」を創設、総裁に就任され、全国各地でワークショップなどを行われている。

彬子女王殿下

**彬子女王殿下がお成りになり、「女性皇族として」の思いについてご講演をいただきました。**

<主な内容>

・男女は、脳の構造や体の仕組みが異なっており同じ枠組みの中で考えること自体に無理があると考える。男性女性にかかわらず、人間には向き不向きがあるので、適材適所に人を配置し、役割分担をするということが大切。

・男性皇族であっても、女性皇族であっても自分自身が取り組んできたことに変わりはなかったと思っている。続けている研究も公務も、人生の中の自然な流れの中で取り組んできたもの。

・講演にあたり、女性皇族だからこそできることは何かとあらためて考えてみた。

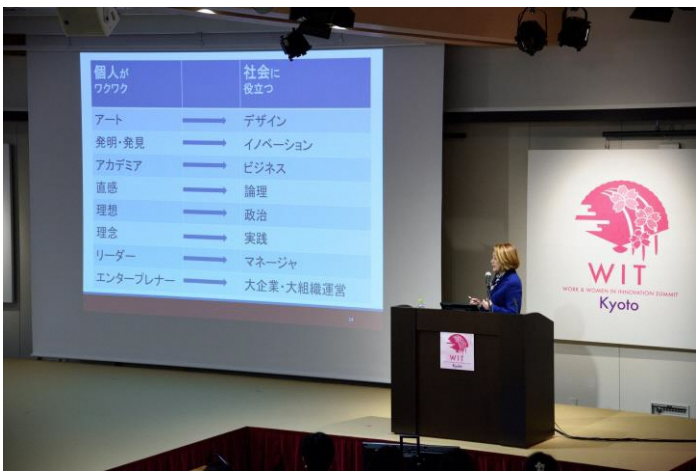
・衣装や宝飾品、お口上など、皇室に伝えられてきた伝統の意味をしっかりと学び、伝えられてきたことにどのような意味があるのかを考えながら、これを伝えていく役割を担っていきたい。

## 【基調講演②】

## 女性活躍で未来を変える　　久能 祐子氏

S&R財団(米国)理事長兼CEO、ハルシオン(米国)創設者兼議長、株式会社フェニクシー共同創業者 、京都大学総長学事補佐・経営管理大学院特命教授

日米両国で起業し、1994年から2006年にかけて2種類の薬剤を開発・販売。2012年に革新的ワクチン開発を目指すVLPセラピューティクスを共同創業。社会起業家としては、ワシントンDC にS&R財団を設立し理事長兼CEOを務めるほか、2014年に社会起業家を育成するハルシオン・インキュベータを設立、2018年には京都に株式会社フェニクシーを共同創業した。Forbes誌の「アメリカで自力で成功を収めた女性50人」にも選出（2015年）されている。




久能祐子氏

**アメリカを拠点にご活躍されている久能氏により、21世紀における未来と女性活躍の必要性について講演いただきました。**

＜主な内容＞

・21世紀には、国境を越えて大規模な問題が起こり、地球規模の危機が次々と発生するのではないかと考えられている。

・解決策を見いだすために必要な要素は、「破壊的イノベーション」、「個人の力・起業家精神」、「ダイバーシティ」、「Visionary&Doer （ビジョナリー＆ドゥーアー）の活躍」

・個人で取り組むアントレプレナー（起業家）がひらめきをもち、勇気を持って行動に移すことが破壊的イノベーションの牽引となる。

・既存の社会システムが行き詰まっている。今までパラダイムの中心にいなかった人々、価値観が異なる人々によるダイバーシティが重要。→日本の女性はここに当てはまる。

・21世紀型Visionary&Doer（ビジョナリー＆ドゥーアー）、すなわちユニバーサルの価値観、理念を持って想定外の事態に迅速に大胆に対応できる人が必要。

・解決のために求められる価値観は、勇敢で大胆に、おおらかでリスク寛容に、未来志向で楽観的に、謙虚でオープンに、成果の共有、敏捷で柔軟、これらは日本の女性の最も強いところ。

・世界を変えるために、創造的ポテンシャルを開放し、大きなビジョンを持って、小さな一歩を踏み出す事から。

## 【パネルディスカッション① 】

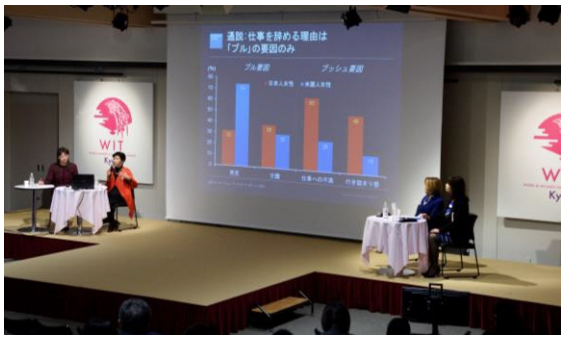
### 日本の女性活躍の壁を乗り越えるために必要なもの ～グローバルに活躍する女性の経験から～

**キャシー 松井氏〈ゴールドマン・サックス証券株式会社 副会長〉**
20年前にウーマノミクスの概念を提唱、国内外のダイバーシティ問題・解決に取り組み、また発展途上国の女性教育向上も支援。2007年にウォールストリートジャーナルの「10 Women to Watch in Asia」に選ばれた。ハーバード大学、ジョンズホプキンズ大学院卒業。

**村上 由美子氏〈OECD東京センター 所長〉**
2013年、OECD東京センター所長に就任。OECDの日本およびアジア地域における活動の管理、責任者。政府、民間企業、研究機関等に対し、OECDの調査や研究、及び経済政策提言を行う。

**久能 祐子氏** P5 基調講演 参照

**【モデレーター 】 井原 慶子氏〈カーレーサー、日産自動車株式会社 独立社外取締役〉**
大学時代にレースクイーンからレーサーに転身し、2014年にはWEC世界耐久選手権に参戦、ルマンシリーズでは総合優勝を果たす。
レース転戦のかたわら、地域での英語教育活動などにも携わり、慶應義塾大学院特任准教授や日産自動車株式会社の独立社外取締役を務める。



井原慶子氏・キャシー松井氏

久能祐子氏・村上由美子氏

**グローバルに活躍する皆さんに、日本の女性活躍の壁を乗り越えるために必要なものをテーマに議論をいただきました。**

＜主な内容＞

松井氏　経済成長に必要な3要素である人材、資本、生産性。少子高齢化が進み人材が不足していく中、国の将来の成長率を伸ばすにはどうすればいいかと考え、20年前に「ウーマノミクス」を研究し始めた。
育児・介護の問題以外に、仕事への行き詰まりで退職する女性が多い。キャリアマネジメントやメンターシップがとても重要。

村上氏　日本人女性の就業率は、この８年の間にアメリカより高い水準に達成したが、非正規雇用が多く、管理職の割合は低い。男性と女性の賃金格差は25%であり、他の国と比べて大変高い。25%の賃金格差がなくなれば、GDPの潜在成長率が1.9%まで伸びるという試算がある。
OECDで国際的に実施している16歳以上の成人学力テストでは、日本人は読解力と数的思考力がトップ。男女別に分けて比較すると2位のフィンランドにかなり大きな差をつけて日本の女性は1番になる。

久能氏　女性には、完璧主義者が多すぎる。とにかく”No Problem”と言おう、何か頼まれたら”Of Course”と言おうという学習をして、問題が起こっても問い詰める前にみんなで解決策を探す。カバーしようという流れをつくったことが有効であった。
自分の価値観に基づいてそれぞれのやり方があっていい。スタンダードにこだわるところが、1つの壁になっている。

## 【ビジネスウーマンコレクション】　協力：株式会社ワコール

## 今日から変わる。働く女性のための美しく疲れない姿勢と歩き方

**坂口 久美子氏〈一般社団法人シーズ 代表理事〉**

ショーモデルとしてデビューし海外ブランドのショーや数々のコレクションに出場。2003年にCs'ウォーキングスクールを設立。モデル時代の身体に悪い姿勢やウォーキングではなく「人間として正しい姿勢と歩き方」をコンセプトにスクールでの指導や企業でのセミナー講師として活躍する。

坂口久美子氏

京都を拠点にウォーキングスクールを主宰されている坂口久美子氏を講師にお招きし、パンプスでも疲れないきれいな「姿勢」の重要性、きれいな「歩き方」、最適なパンプス選び、それぞれのポイントについてレクチャーしていただきました。きれいな「姿勢」の場面では、会場の皆様も立ち上がって実際に体験をしていただきました。

パンプスは、株式会社ワコール様より「サクセスウォーク」をご提供いただきました。

## 【パネルディスカッション②】

### 成長戦略としての働き方改革と柔軟な働き方　～パネリストの事例から自分自身のキャリアを考える～

**岡島 悦子氏〈株式会社プロノバ 代表取締役社長〉**
経営チーム強化コンサルタント、ヘッドハンター、リーダー育成のプロ。年間200名超の経営者のリーダーシップ開発を行う。三菱商事、ハーバードMBA、マッキンゼー、グロービス・グループを経て、2007年プロノバ設立。丸井グループ、セプテーニ・ホールディングス、ユーグレナ、マネーフォワード他にて社外取締役。世界経済フォーラムから「Young Global Leaders 2007」に選出。
著書に『40歳が社長になる日』(幻冬舎) 他。

**鳥屋尾 優子氏〈株式会社ワコールホールディングス ダイバーシティ・グループ 人事支援室長〉**
経理・財務・広報・宣伝部門を経て、2016年にオープンした美をテーマにした学び場「WACOAL STUDYHALL KYOTO」を立ち上げ、初代館長に就任。2018年4月から副室長を経て2019年4月より現職。

**羽生 祥子氏〈日経クロスウーマン総編集長、日経doors編集長、日経DUAL創刊編集長〉**
京都大学卒業後、編集工学研究所を経て2005年日経BP入社。『日経マネー』副編集長、『日経DUAL』創刊編集長に。
2019年『日経x woman』総編集長就任、『日経doors』編集長。

**平林 幸子氏〈京都中央信用金庫 副会長〉**
1971年、立命館大学法学部卒業後、京都中央信用金庫へ入社。企画・管理部門を経て、1998年理事に就任。2006年、常務理事の時に「京都府あけぼの賞」受賞。その後、専務理事、副理事長を経て、2018年より現職。公職多数。

平林幸子氏・鳥屋尾優子氏

岡島悦子氏・羽生祥子氏

**岡島氏のキーノートスピーチに続き、パネリストの皆様にそれぞれのお立場から事例を紹介いただき、来場者の方々自身や企業のキャリアアップについて考えるヒントをたくさんいただきました。**

<キーノートスピーチ>

・パネルディスカッション①で示されているように、日本の女性はポテンシャルが高いことは証明されているが、女性管理職の比率は伸びていない。

・特に20代後半の世代が「自己効力感」、つまり未来の自分に対する自信が持てていない。20代の間に3部署程度を経験するローテーション、そして、できるだけ若いうちからの管理職の登用を進めるキャリアの前倒しを薦めている。

・遅すぎることはなく、それぞれの強みを言語化してそれを武器にしていけば、女性活躍だけではなく、全ての方々の活躍につながっていくと考えている。

<事例紹介>

鳥屋尾氏　ワコールは、女性が9割の会社。女性が活躍しているから会社が永く存続している。5～6年前は、女性管理職は10%前半。現在は24%を超えている。4年ほど前に手挙げ式の管理職育成研修を始めた。
　はじめは、なかなか手が挙がらなかったが、地道に継続した結果、皆が手を挙げやすくなった。次は、女性に限らず男性も含めて働きがいをどう高めるかというフェーズに来ている。
　育児休業はキャリアアップと捉えている。育児はマルチタスクの最たる現場。

羽生氏　2013年に日経DUAL（共働きのパパ/ママ向けのメディア）を立ち上げた。専業主婦世帯と共働き世帯数が逆転し、共働き世帯がマジョリティになっていることを「見える化」して提案したところ、多数の共感者を得ることができた。
　2019年2月、日経ARIA(40代から50代の働く女性向け)と日経doors(20代から30代の女性向け)を創刊。doors世代は、日本で能力が発揮できないなら海外も視野に入れている。

平林氏　1971年入社当時は、大卒の女性を採用する民間企業は皆無という状態。大卒女性の定期採用一期生として京都中央信用金庫に入社。女性職員の平均年齢は21歳、勤続年数は3年だった。中間管理職の昇進試験制度が整っており、規定の中に男子に限るとは書いていなかったので受験をした。
　京都は非常に合理的な精神にあふれており、男女共同参画についても経済合理性も含めて推進している。

## 【共同宣言】

宣言文読み上げ

輝く女性応援京都会議代表 立石 義雄氏 (京都商工会議所 会頭)

### 宣言文

京都では、2015年、経済団体等と行政が連携して「輝く女性応援京都会議」を発足させ、職場における女性の活躍や、働き方改革の推進に、オール京都で取り組んできました。

その後、働きたい・働く女性が日本で最も活躍できる地域・関西の実現をめざし、圏域の経済団体や行政が参画して「関西女性活躍推進フォーラム」が設置され、関西における女性活躍推進に向けた取り組みも進めています。

女性活躍推進法が後押しとなり、女性を取り巻く就業環境にも少しずつ変化が現れ、また、働き方改革に関する法整備が進められるなど、「女性活躍」と「働き方改革」は社会に浸透しつつありますが、このムーブメントが形式的な取り組みに収束しないよう、これまでの取り組みを礎として、今こそ新たな一歩を踏み出す必要があります。

古から幾多の女性が活躍し、多様な文化を織りなしてきた京都には、「女性活躍」と「働き方改革」の推進に重要な役割を担う「多様性」を培ってきた歴史と伝統があります。

新たなステージをめざして、私たちは、その歴史と伝統を大きな強みとして、女性をはじめとする多様な人材が、多様な働き方・生き方を選択できる環境を整え、職場だけでなく、家庭や地域など、あらゆる場面で誰もが活躍することのできるインクルーシブな京都そして関西の実現に向けて前進していくことを宣言します。

## 三重県

「ＷＩＴ Kyoto」のご開催を心よりお祝い申し上げます。開催にあたりご尽力されました京都府知事、輝く女性応援京都会議をはじめ、多くの関係者の皆様に深く敬意を表します。

2016年の「伊勢志摩サミット」を機に始まった、地方発の女性活躍推進のムーブメントが、着実に広がっていることを嬉しく思います。

本県では、ＷＩＴを契機に30名の女性活躍ロールモデルが誕生するなど、女性活躍推進の「気運」が高まっています。この流れを生かし「行動」のステージへと進めるべく、真に女性が活躍できる環境整備に取り組んでいきます。

本会が、新たな原動力となり、女性活躍の流れがさらに加速化することを、期待しています。

令和２年１月３１日

三重県知事　鈴木　英敬

## 広島県

女性活躍推進サミット「ＷＩＴ Kyoto」が盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

ＷＩＴ Kyotoは，京都ならではの歴史と伝統生かしたプログラムにより，次世代の女性活躍をさらに推進することを目的とされており，大変意義深いものでございます。

広島県におきましても，2017年に「女性活躍」と「働き方改革」をテーマにＷＩＴ 2017を開催し，女性をはじめ多様な人材が活躍できる社会をつくり，そのムーブメントを全国に発信することを自ら行動する個人や企業，経済団体など各界のリーダー達が共同宣言いたしました。

この「ＷＩＴ 2017」を契機に，県内における女性活躍や働き方改革の取組の裾野は着実に広がっており，その後の皆様の取組により，社会全体の機運が高まっていることを実感しているところです。

今後もＷＩＴのバトンが引き継がれ，「女性活躍」と「働き方改革」の新たなムーブメントが全国に波及・拡大していくことを心より期待しております。

令和２年１月３１日

広島県知事　湯　﨑　英　彦

## 宮城県

本日ここに「ＷＩＴ　Ｋｙｏｔｏ」が「ＷＩＴ２０１８宮城」のバトンを引き継がれ盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

「ＷＩＴ２０１８宮城」開催では、「女性活躍」と「魅力ある働き方」の必要性を、本県が抱える現状を踏まえた上で、県内外の多くの皆様に発信できたものと確信しております。

また、ＷＩＴ開催を契機として、継承事業と位置付けたシンポジウムを開催し、特に今年度は女性活躍の推進には欠かすことの出来ない「男性の視点」をテーマとした講演により、広く県民への理解の浸透を図っております。今後とも、更に女性が活躍しやすい環境の整備を推進して参ります。

結びに、「ＷＩＴ　Ｋｙｏｔｏ」により次世代の「女性活躍」と「働き方」が京都から発信されますとともに、本日、御参加の皆様にとって実りの多いフォーラムとなりますことを祈念いたしまして、お祝いのメッセージといたします。

令和２年１月３１日

宮城県知事　村井　嘉浩

# 女性起業家交流会　第8回京都女性起業家賞（アントレプレナー賞）授賞式

新たなビジネスにチャレンジする女性起業家を顕彰する「第8回京都女性起業家賞(アントレプレナー賞）」の授賞式と受賞者によるピッチを実施。また、先輩女性起業家による講演・パネルディスカッションや名刺交換会での交流を通して起業家同士や創業支援機関、府内企業等とのネットワーク構築を図りました。

**第８回京都女性起業家賞（アントレプレナー賞）受賞者**（敬称略）

- ●京都府知事賞最優秀賞　奥山 梨衣（SKIP&CLAP）
- ●京都府知事賞優秀賞　森 麻里（ATTRACTIC 株式会社 代表取締役）
- ●京都府知事賞子育て関連事業賞　赤坂 美保（株式会社たおやかカンパニー 代表取締役）
- ●近畿経済産業局長賞・日本政策金融公庫グッドプラン賞　手塚 隆子（NINE EIGHT 代表）
- ●特別賞 ＊授賞式登壇（賞名の五十音）順に掲載
  - ・京都銀行賞・京都リサーチパーク賞　大西 里枝（六根 Life & Craft 代表）
  - ・京都商工会議所女性会賞・日本経済新聞社京都支社賞　清水 愛（urujyu 代表）
  - ・京都信用金庫賞　藤村 香菜子（わざどころ PON 代表）
  - ・京都中央信用金庫賞　辰馬 雅子（株式会社辰馬コーポレーション 代表取締役）
  - ・京都北都信用金庫賞　八幡 信子（コトコト・きっちん 代表）
  - ・京都リビング新聞社賞　鈴木 奈月（京北マルシェ）
  - ・トーマツベンチャーサポート Innovation By Woman 賞　西濱 愛乃・西濱 萌根（株式会社 NINI 共同代表）

【講演者】 文　美月氏　株式会社ビューティフルスマイル 代表取締役

**「元専業主婦・2児の母の起業家としての18年」と題し、京都出身の女性起業家 文 美月氏にご講演いただきました。**

文　美月氏

＜主な内容＞

・結婚、出産後、「自分らしく生きるために起業する」という道を選び、自宅のPC 1台で、ヘアーアクセサリーに特化したECサイト運営会社「リトルムーンインターナショナル株式会社」を創業。自身二度目の起業となる食品ロス削減事業「ロスゼロ」に至るまでの経緯。

・女性特有のライフイベントと「仕事」「社会」との上手な関わり方や、苦労の中でも様々な出会いや支え、仲間、成長の喜びがあること、また、起業家として人を頼らず自分で行動し、何事をも突破する力を持つことの大切さを訴えた。

・シニアになってもアントレプレナー精神を忘れたくないと、常に新しい自分に挑み続ける、パッション溢れる女性起業家像を提唱。

【パネリスト】新井 恭子氏　京都サンダー株式会社 代表取締役（第7回京都女性起業家賞京都府知事賞最優秀賞受賞）
中村 朱美氏　株式会社minitts 代表取締役（第4回京都女性起業家賞京都府知事賞最優秀賞受賞）

**「女性活躍」「働き方改革」を実践する、二人の女性起業家の対談を行いました。**

中村朱美氏・新井恭子氏

＜主な内容＞

中村氏　1日100食限定の「佰食屋」を運営。独自のビジネスモデルで飲食業界の働き方改革を推進し、経営者と従業員、またその家族が共に幸せを感じられる店舗運営を実現。

新井氏　女性経営者ならではの視点で「建設ディレクター®」という全く新しい女性の職域を提唱・育成することで、建設業界の課題である人手不足や長時間労働等の課題の解決を図るため全国で活動中。

・「飲食」「建設」と業界は違うが、共に、自社の利益のみならず、社会へのポジティブインパクトのある事業を推し進めたいと考えており、その原動力となったのが京都女性起業家賞であった。

・受賞を機に、認知度や信用が高まり「良い循環」が生まれた。

## STEM女子に聞く仕事のリアル　～女子学生のためのフューチャーフォーラム～

企業で働く現役の理系女子「ＳＴＥＭ女子」をお招きし、今の職業を選択した理由や仕事の内容、結婚・出産・育児といった大きなライフイベントとどのように向き合ってきたかなど、リアルなお話をうかがいました。

また、理系の仕事や、働く女性のライフスタイルについて理解を深められるよう、参加大学生との座談会（意見交換）を行いました。

**【講演者】**

**家納 磨美氏**　三洋化成工業株式会社　研究技術部
**林　美有紀氏**　三洋化成工業株式会社　事業研究第二本部　高分子薬剤第１研究部
**黒崎 奈菜子氏**　株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー　特殊・大型リチウムイオン電池本部　技術部
**佐々木 絵里子氏**　株式会社 GSユアサ　グローバル技術統括センター　技術開発本部
**重里 優子氏**　株式会社島津製作所　分析計測事業部

＜主な内容＞

2つのテーマ別にロールモデルの皆様にご講演いただきました。

**●講演テーマ1 「会社概要と仕事内容」**

・STEM女子の方々の勤務されている企業の紹介、従事されている仕事内容

・志望動機や就職活動 等について
大学で学んだ知識が生かせる仕事に就きたい、面接官や一緒に働いている方の人柄をみて女性社員が働きやすい環境だと判断したため 等

・1日のタイムスケジュールや仕事とプライベートの過ごし方 等について
短時間勤務制度を利用した育児と両立しながらの勤務、効率良く業務を遂行するためのフレックスタイム等の社内制度を活用 等

**●講演テーマ2 「ワーク・ライフ・バランス」**

・時間単位年休、フレックスタイム、短時間勤務、在宅勤務制度等の他、女性活躍のための研修（女性社員の意識向上、能力発揮のための環境整備、女性管理職マネジメント研修）等、ワーク・ライフ・バランスの観点から登壇企業各社の社内制度、福利厚生等について紹介。

※「STEM(ステム)」とは、**S**cience(科学)・**T**echnology(技術)・**E**ngineering(工学)・**M**athematics(数学) を総称する語

# 男性の家事・育児参加が社会を変える

企業での先進的な取り組みの紹介や家事・育児に積極的に関わる男性を描いた映画の上映などから、男性の家事・育児について考えました。

**【登壇者】**
**佐藤 陽子氏**　映画監督
**谷孝　大氏**　株式会社フューチャースピリッツ 代表取締役
**森本 泰弘氏**　積水ハウス株式会社 ダイバーシティ推進部 課長

**【モデレーター】**
**加藤 千恵氏**　京都光華女子大学 副学長・女性キャリア開発研究センター長・京都市男女共同参画センター館長

「男性の家事・育児参加が社会を変える」をテーマに、先進的に取り組まれている企業の方や家事・育児に積極的に取り組む男性を描いた映画の監督に登壇いただき、企業における取組事例の紹介や映画の上映のほか、パネルディスカッション、会場の参加者との質疑応答を行い、会場全体が一体となってテーマについて考えました。

パネルディスカッションでは、企業での取組状況、育児休暇取得の経験や課題等について、意見交換が行われました。

＜主な内容＞

・育児休業取得により、職場でのコミュニケーションが深まり、複数担当制にすることで、長期で休んでも業務が滞る心配がなくなるなど、働き方改革に好影響だった。

・育児休業の経験により、同僚や部下を信頼して仕事を任せることの大切さを学ぶとともに、育児中の女性メンバーへの理解と配慮が深まった社員もいる。

・企業の代表者自らが育児休暇を取得するために、権限移譲を行うことで、現場の意思決定がスピーディーになり、社員の目的意識や責任感が向上した。

・男性が育児休暇を取ることの本当の価値は、育児の楽しさを夫婦で共有できるようになることだと感じた。

・男性の育児休業の取得は、父親としての自覚が得られ、有意義だったという声もあるが、実際に取得するためには、収入面の課題もあるという意見があった。

# 男性リーダーに知ってほしい女性活躍推進の取り組み
## ～社外メンターによる女性のキャリア支援～

その人らしいキャリアを歩めるように、寄り添い、伴走し、時折、経験に基づくリアルなアドバイスを与えてくれる「メンター」。この分科会では、企業の枠を超えて、働く女性のキャリア支援を行う「社外メンター」の取り組みを紹介。
また、男性リーダー（企業の男性経営層等）を交えてワークショップを行い、女性の活躍やキャリア形成などについて意見交換を行いました。

**【講演者・モデレーター】**
**井本 七瀬氏**　NPO法人アーチ・キャリア代表
**瀧井 智美氏**　NPO法人アーチ・キャリア理事、株式会社ICB代表取締役

＜主な内容＞

・女性のキャリア形成は様々な理由で壁にぶつかる（インポスター症候群などの「意識の壁」、仕事と育児の両立に悩む「両立の壁」、管理職への登用などを望まない「昇進の壁」）。

・壁を乗り越えて女性がキャリアを形成していくためには、メンター、ロールモデル、スポンサー（機会の付与や昇進の後押しをしてくれる人）といった、理解者・支援者の存在が重要。

・日本では女性管理職がまだまだ少ないなど、女性にとって身近なロールモデルや相談相手が不足していることから、NPO法人アーチ・キャリアでは、働く女性に対し、別の会社で活躍する女性を「社外メンター」としてマッチングし、直接相談に応じることでキャリア支援を行っている。

・社外メンターとの面談（メンタリング）で、経験談を聞いたり助言を得たりすることで、相談者は仕事と育児の両立について見通しを持てるようになったり、昇進に前向きになれたりするなど、キャリア上の課題解決に向けた変化が見られるようになる。

・社外メンターのように、メンターやロールモデルは社内だけでなく社外リソースの活用も可能だが、スポンサーは社内の上司や管理職にしかできない役割。スポンサーには、女性に対し、働き方や子どもの有無に関係なく仕事においての期待を伝え、機会を付与していくことが求められる。

■B2 大会ポスター

■A4 事前配布チラシ（8,000枚印刷）

表面

裏面

■京都新聞　元旦号　キーワードきょうと フロント広告
全３段（W386×H105mm）

拡大

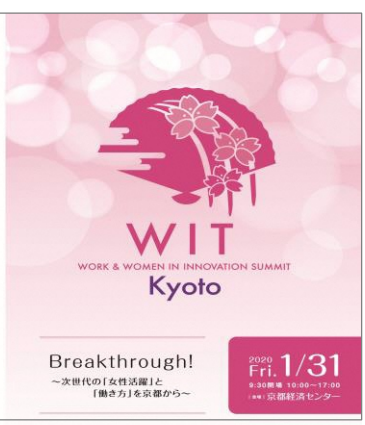
キーワードきょうと フロント

■京都新聞　１月17日（金）朝刊　半５段（W192×H176mm）

■見開きA3 受付配布パンフレット（500部印刷）

裏面

表紙




中面

京都経済センター

京都経済センター入口（2F）

京都経済センター 京都産業会館ホールロビー

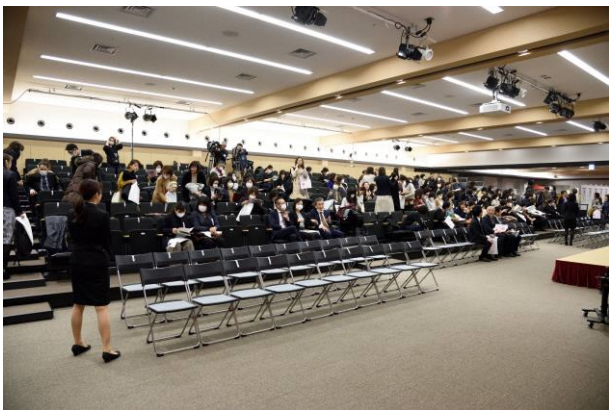
受付

受付

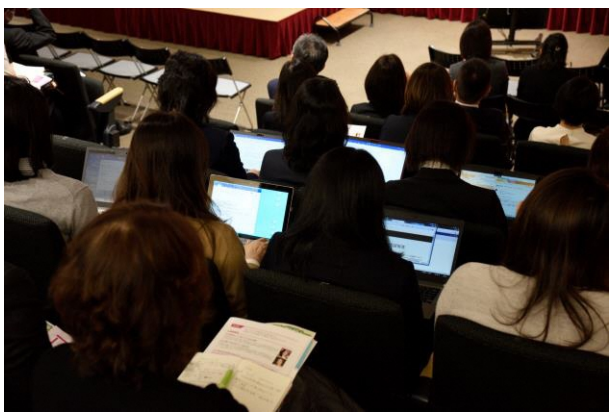
京都経済センター内サイネージ

京都産業会館ホール 北室　WITメイン会場

京都産業会館ホール 中室



要約筆記



共同宣言

お茶席

休憩コーナー

株式会社ワコール ブース

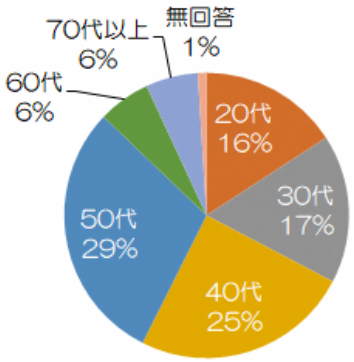
株式会社ロマンス小杉 ブース

協賛企業PRコーナー

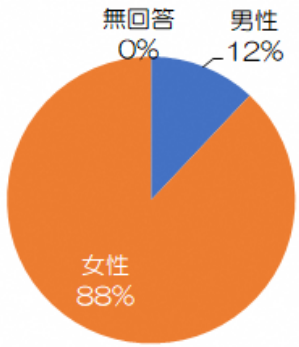
懇親会　からすま京都ホテル　瑞雲の間

■WIT Kyoto　来場者アンケートのまとめ

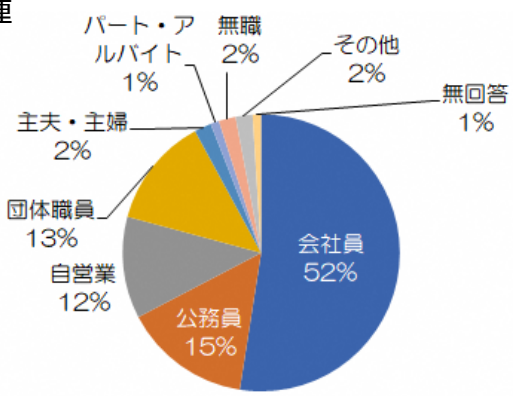
1. 年齢



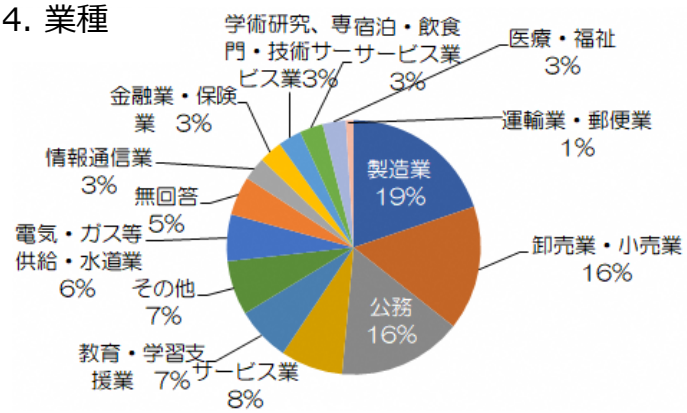

2. 性別



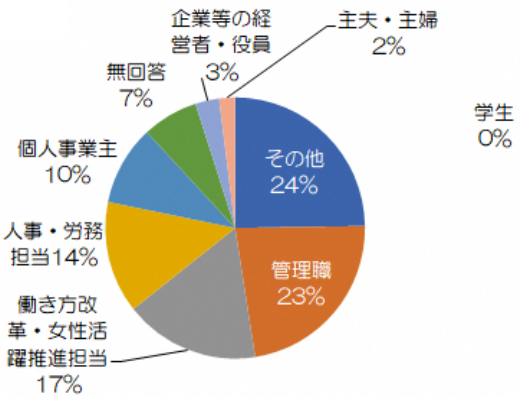

3. 職種



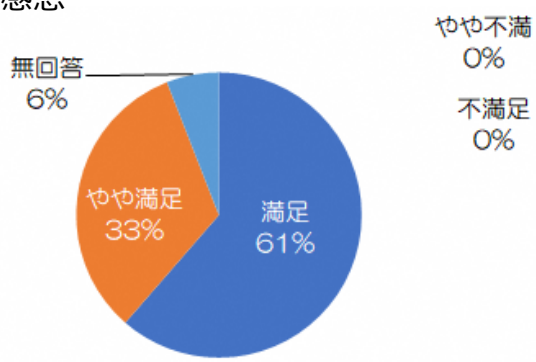

4. 業種



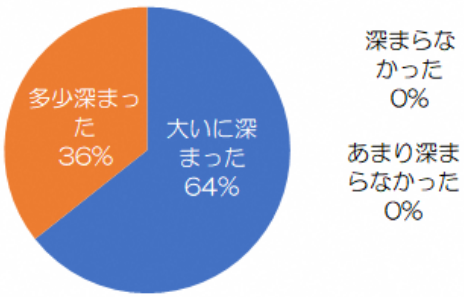

5. 立場



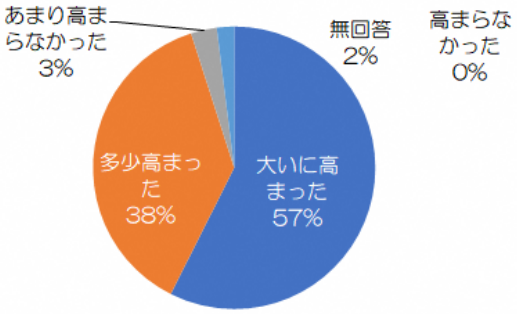

6. 参加の感想



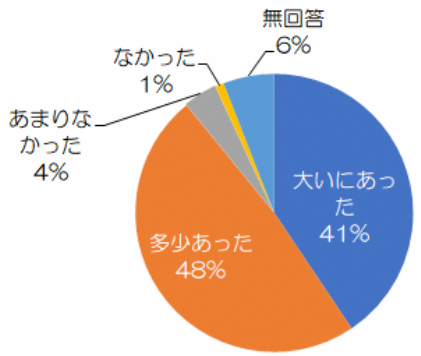

7.「女性活躍」「働き方改革」への理解度




8.「女性活躍」「働き方改革」を進めようと思う意識



9. 個人、企業で役立ちそうなことや取り組めそうなことは




**[全体的な感想]**

・グローバルに第一線で活躍されている女性の話に大いに触発された。すぐに実行できる話が聞けた。

・日本の女性が世界的にもポテンシャルが高く、魅力的なことを認識した。女性活躍の推進には、会社の経営陣を本気で巻き込む必要があると感じた。

・「完璧でなくて良い」という考え方を持ち仕事に取り組みたい。
意識の持ちようで物事のとらえ方が変えられると感じた。
前向きに機会を逃さないように取り組みたい。

・早めの人材登用の大切さを学んだ。力不足でも若手に任せてサポートしていきたい。

・オープニングから心をつかまれた。講師のレベルが高く、姿勢・歩き方セミナーやお茶席もある充実したイベントだった。

・内容が盛りだくさんでスケジュールがつまりすぎていた。

WIT
WORK & WOMEN IN INNOVATION SUMMIT
Kyoto

発行元

京都府府民環境部男女共同参画課

TEL: 0 7 5 - 4 1 4 - 4 2 9 1
MAIL:danjokyodo@pref.Kyoto.lg.jp